記入例（航空障害標識の変更・廃止連絡票）

●設置届に記載されている高さを記入
●地上高は地表又は水面より物件の最頂部までの高さを記入
●海抜高は東京湾の平均海面から物件の最頂部までの高さを記入
●単位は「ｍ（メートル）」とし、小数点第１位まで記入（小数点第２位を四捨五入）。ただし、東京湾平均海面が適用できない地域はその地域での平均海面とする

●該当する物件を〇で囲む

●物件名称を記入する
●固有No.がある場合は記入する
例：〇〇ビル ●●煙突No.● ××鉄塔

●変更となる項目を〇で囲む

●変更（廃止）となる理由を記載する

●変更（廃止）となる期日を記入する

航空障害標識（ 変更 ・ 廃止 ）連絡票

【現物件内容】

1. 物件設置者　〇〇〇〇株式会社　社長　〇〇〇〇
2. 物件所在地　〇〇県△△市□□町◇番◇号
3. 設置年月日　Ｓ・(Ｈ)・Ｒ　〇〇年△△月□□日
4. 設置届出年月日　Ｓ・(Ｈ)・Ｒ　〇〇年△△月□□日
5. 設置位置　北　緯：〇〇度△△分□□秒／東　経：〇〇度△△分□□秒（世界測地系・日本測地系）
6. 物件高　地上高：　〇〇．〇　ｍ／海抜高：　〇〇．〇　ｍ
7. 物件種類及び名称（〇で囲む）　建物　・　鉄塔　・　煙突　・　送電線　・　その他（　風車　）
   物件名称　〇〇風力発電機〇〇号
8. 航空障害灯の種類（〇で囲む）
   低光度航空障害灯　・　中光度航空障害灯　・　高光度航空障害灯
9. 昼間障害標識の有無（〇で囲む）
   (有)（地上　０　ｍから頂上まで　７　等分）　・　無
10. 管理者
    会社名：〇〇〇〇株式会社　〇〇支店
    部課名：〇〇課　〇〇係　担当者
    住　所：〇〇県△△市□□町◇番◇号
    電　話：〇〇―〇〇〇〇―〇〇〇〇

【変更内容】

11. 変更箇所（〇で囲む）
    設置者　・　管理者　・　物件※1　・　航空障害灯※2　・　昼間障害標識※3
    ※１障害物件の変更　→　物件名称、固有No、地上高・海抜高、物件所在地、物件位置（北緯／東経）
    ※２航空障害灯の変更　→　航空障害灯種類（灯器型式）、設置灯数、設置位置、灯器製作所名、配光種類等
    ※３昼間障害標識の変更　→　塗色の等分、施工場所、色
12. 変更・廃止理由　設置基準の緩和による航空障害灯設置位置見直しに伴う変更
13. 変更内容
    ①障害物件　市町村合併による所在地の変更（〇〇県△△市□□町☆番×号）
    ②航空障害灯　中間段（ＯＭ－３Ｃ　〇〇．〇を消灯）
14. 変更・廃止年月日　Ｒ〇〇年〇〇月〇〇日
15. 通報者　会社・部課名：〇〇〇〇株式会社　〇〇支店　〇〇課
    担当者・連絡先：〇〇〇〇　〇〇―〇〇〇〇―〇〇〇〇

※本票とともに、既存の航空障害灯及び昼間障害標識の設置届出書（写）を提出。

●該当する項目を〇で囲む

●設置者は、設置届に記載されている者（物件の財産管理責任者以上）を記入する

●設置届に記載されている所在地を記入
●物件の所在地を都道府県から記入する
●架空線の場合は支持物件の所在地を記入する

●設置届に記載されている設置期日を記入する。仮設物件の場合は、設置期間を記入する

●北緯、東経を秒単位まで記入する（秒以下は小数点第１位を四捨五入）
●架空線の場合は、支持物件の北緯、東経を記入する

●設置されている航空障害灯の種類を〇で囲む

●設置されている昼間障害標識の有無を〇で囲む
●昼間障害標識が設置されている場合は、塗色した範囲を記入する

●管理者は役職名、住所、電話番号を記入する

●変更となる内容を具体的に記入する
例：灯器型式、取り付け高さ、設置個数
●多岐にわたる場合は別紙も可

●連絡をした者の所属、氏名、連絡先を記入する